

問1 化学変化において、物質が結びつく質量の割合は常に一定であるという法則に基づいたとき、特定の物質を必要以上に多く混ぜて反応させると、一部の物質が反応せずに残る。このとき、反応せずに残った物質を指す用語として最も適切なものはどれか。(2025年 沖縄公立入試 類似)

1. 未反応の物質                      2. 触媒                                      3. 化合物の成分                      4. 沈殿物

問2 サウジアラビアの産業と社会構造について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。(2024年 沖縄公立入試 類似)

1. 豊富な原油を主要な輸出商品とし、国内の労働力不足を多くの外国人労働者で補っている。                      2. 広大なパンパと呼ばれる草原を活用し、肉牛の放牧や小麦の栽培を主要な産業としている。                      3. 安価な労働力を背景に、国内の農村部から都市部への出稼ぎ労働者によって工業化を支えている。                      4. 鉄鉱石や石炭などの鉱物資源が豊富であり、それらを原料とした重化学工業が輸出の柱となっている。

問3 太陽が西の地平線に沈む「日の入り」の時刻に、満月が昇り始める様子を観察しました。このとき、満月はどの方角の地平線から昇りますか。(2025年 沖縄公立入試 類似)

1. 東の方角                                      2. 西の方角                                      3. 南の方角                                      4. 北の方角

問4 私たちは、テレビやインターネットなどのメディアから日々多くの情報を受け取っています。しかし、こうした情報は必ずしも常に客観的であるとは限らず、発信者の意図や偏りが含まれている場合があります。情報を鵜呑みにせず、多角的な視点から批判的に読み解き、情報の真偽を客観的に判断して活用する能力を何と称しますか。(2025年 沖縄公立入試 類似)

1. メディアリテラシー                      2. インフォームド・コンセント                      3. ヘイトスピーチ                      4. マイクロクレジット

問5 日本の歴史における都の変遷について述べた文章のうち、正しいものはどれか。なお、現在の奈良市周辺を「地点A」、現在の京都市周辺を「地点B」とする。(2018年 沖縄公立入試 類似)

1. 桓武天皇は地点Bに平安京を造り、新たな時代を始めた。                      2. 聖武天皇は地点Bに平城京を造り、仏教による国づくりを進めた。                      3. 桓武天皇は地点Aに平安京を造り、律令政治の再興を目指した。                      4. 推古天皇は地点Aに平城京を造り、冠位十二階を定めた。

問6 江戸幕府が実施した「参勤交代の制度化」、「生類憐みの令の発令」、「享保の改革の実施」という3つの出来事について、時期の古いものから順に正しく並んでいるものはどれですか。(2024年 沖縄公立入試 類似)

1. 参勤交代の制度化 → 生類憐みの令の発令 → 享保の改革の実施                      2. 参勤交代の制度化 → 享保の改革の実施 → 生類憐みの令の発令                      3. 生類憐みの令の発令 → 参勤交代の制度化 → 享保の改革の実施                      4. 享保の改革の実施 → 参勤交代の制度化 → 生類憐みの令の発令

問7 日本の参議院議員選挙の仕組みについて、全国を一つの単位として行われる比例代表制と、都道府県を単位（一部の県は隣接する県と統合）として行われる選挙区制を組み合わせた制度が採用されています。参議院の比例代表制において、衆議院の比例代表制（11のブロック単位）と異なる特徴として正しい説明を選びなさい。(2025年 沖縄公立入試 類似)

1. 日本全国を一区とし、有権者は「政党名」か「候補者名」のいずれかを書いて投票する。                      2. 日本全国を一区とし、あらかじめ政党が決めた順位に従って当選が決まる拘束名簿式で投票する。                      3. 全国を11のブロックに分け、有権者は「候補者名」のみを書いて投票する。                      4. 都道府県ごとに定数を割り振り、有権者は「政党名」のみを書いて投票する。

問8 ある地点の地層の重なりを調べたところ、下から上に向かって「砂岩の層」「泥岩の層」の順に重なっていることがわかりました。この地点の堆積環境における水深の変化について、最も適切な説明を選びなさい。(2024年 沖縄公立入試 類似)

1. 堆積が進むにつれて、海岸からの距離が遠くなり、水深が深くなっていった。                      2. 堆積が進むにつれて、海岸からの距離が近くなり、水深が浅くなっていった。                      3. 堆積が進むにつれて、火山活動が活発になり、海面が急激に上昇した。                      4. 堆積が進む間、水深や海岸からの距離は変化せず、一定に保たれていた。

問9 化学変化において、反応する物質どうしの質量の間には、常に一定の割合が成り立つという「定比例の法則」があります。鉄3.5gと硫黄2.0gが過不足なく反応して硫化鉄ができるとき、鉄10.5gをすべて反応させて硫化鉄を作るために必要な硫黄の質量は何gですか。(2025年 沖縄公立入試 類似)

1. 6.0g    2. 4.0g    3. 7.0g    4. 2.0g

問10 日本付近で観測される震源の分布が、太平洋側の海溝付近では浅く、日本海側の大陸に向かうにつれて深くなっているのはなぜですか。その理由として最も適切な説明を選びなさい。(2019年 沖縄公立入試 類似)

1. 密度の大きい海洋プレートが、大陸プレートの下へ斜めに沈み込んでいるから                      2. 密度の大きい大陸プレートが、海洋プレートの下へ斜めに沈み込んでいるから                      3. 海溝付近では地殻が非常に厚く、大陸側では地殻が薄くなっているから                      4. 海洋プレートと大陸プレートが互いに離れ、その隙間を埋めるようにマグマが上昇しているから

問11 沖縄県内のある地域の地形図において、標高27.0mの三角点が最高地点であり、周囲には果樹園の地図記号が多数見られる場合、この地域の地形や土地利用について考察した文として最も妥当なものはどれですか。(2021年 沖縄公立入試 類似)

1. 標高が低く比較的平坦な地形が広がっており、その土地を利用してパイナップルやサトウキビなどの栽培が行われている可能性がある。                      2. 険しい山地が海岸近くまで迫っており、斜面を利用して米作りを行うための棚田が大規模に整備されている。                      3. 標高100mを超える高台が連なっており、等高線の間隔が非常に狭いことから、大規模な工業団地として利用されている。                      4. 最高地点が海拔0mを下回る干拓地であり、塩害を防ぐために周囲を高い堤防で囲み、針葉樹林の植林が進められている。

問12 日本の人口構成の変遷について述べたものとして、統計上の年代が古い順から並んだ正しい組み合わせを選びなさい。なお、1920年を「富士山型」、1980年を「中央部が膨らんだ移行期」、2015年を「つぼ型」と表現します。(2021年 沖縄公立入試 類似)

1. 富士山型 → 中央部が膨らんだ移行期 → つぼ型                      2. つぼ型 → 中央部が膨らんだ移行期 → 富士山型                      3. 富士山型 → つぼ型 → 中央部が膨らんだ移行期                      4. 中央部が膨らんだ移行期 → 富士山型 → つぼ型

問13 室町幕府において、将軍に次ぐ最高の役職として、将軍を助けて幕政を統括した職制があります。この役職は、有力な守護大名である細川氏・斯波氏・畠山氏の三家が交代で務める仕組みとなっていました。この役職の名称を選びなさい。(2019年 沖縄公立入試 類似)

1. 管領    2. 執権    3. 老中    4. 京都所司代

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 未反応の物質	化学反応において、反応物どうしが結びつく質量の比率は定比例の法則により決まっている。この比率に適合しない余分な質量の物質は、化学変化を起こす相手がないため、反応前の性質を保ったまま混合物の中に残る。このような状態の物質を「未反応」の物質と呼ぶ。
問2	答え 1 豊富な原油を主要な輸出商品とし、国内の労働力不足を多くの外国人労働者で補っている。	サウジアラビアは西アジアの産油国の代表格であり、経済の多くを原油の輸出に依存しています。急激なインフラ整備や都市開発が進む中で、建設業やサービス業などにおいて自国民だけでは人手が足りず、人口の多くを外国人労働者が占めるという独自の社会構造が見られます。なお、パンパはアルゼンチンの特徴であり、農村からの出稼ぎによる工業化は中国などの新興国によく見られる傾向です。
問3	答え 1 東の方角	満月は、地球を挟んで太陽のちょうど反対側に位置しています。そのため、地球の自転によって太陽が西の空へと沈む日の入りのタイミングでは、その正反対の方向である東の空から満月が昇り始めます。
問4	答え 1 メディアリテラシー	現代社会において、メディアは世論の形成に大きな影響を与えます。大量の情報が流通する中で、受け手には情報をそのまま信じ込むのではなく、一歩引いた視点から「この情報は正確か」「別の捉え方はできないか」と主体的に分析する力が求められています。この能力は、民主主義社会において市民が冷静な判断を下すための基礎となります。
問5	答え 1 桓武天皇は地点Bに平安京を造り、新たな時代を始めた。	地点A（奈良）には奈良時代の都である平城京がありましたが、桓武天皇は政治を刷新するために地点B（京都）へと都を移しました。これが平安京であり、以後約1100年にわたって日本の政治・文化の中心地となりました。
問6	答え 1 参勤交代の制度化 → 生類憐みの令の発令 → 享保の改革の実施	参勤交代の制度化は3代将軍徳川家光の時代（1635年）に行われ、大名の経済力を削ぎ統制を強める役割を果たしました。生類憐みの令は17世紀後半の5代将軍徳川綱吉の時代に発令された極端な動物愛護令です。享保の改革は18世紀前半に8代将軍徳川吉宗が行った幕府財政再建のための改革であり、この順序が歴史的に正しい時系列となります。
問7	答え 1 日本全国を一区とし、有権者は「政党名」か「候補者名」のいずれかを書いて投票する。	参議院の比例代表制は、全国を一つの単位とする「非拘束名簿式」を採用しています。有権者は政党名だけでなく個人名でも投票でき、個人名の得票が多い順に当選順位が決まる仕組みです。これに対し、衆議院の比例代表制は全国を11のブロックに分けて行われ、政党名のみで投票する拘束名簿式が基本となります。
問8	答え 1 堆積が進むにつれて、海岸からの距離が遠くなり、水深が深くなっていった。	粒の大きさによる堆積場所の違いとして、粒が大きく重い砂は海岸に近い浅い海に、粒が小さく軽い泥は海岸から遠い深い海に堆積するという原理があります。地層は下にあるものほど古く、上にあるものほど新しいため、下層の砂岩から上層の泥岩へと変化している事実は、時間が経過するにつれてその地点の堆積環境が「浅い海」から「深い海」へと変化したことを示しています。
問9	答え 1 6.0g	鉄と硫黄が反応する際の質量比は 3.5 : 2.0 です。鉄の質量が10.5gになるとき、これは基準となる3.5gの3倍（ $10.5 \div 3.5 = 3$ ）にあたります。定比例の法則により、必要な硫黄の質量も基準の3倍となるため、 $2.0g \times 3 = 6.0g$ と計算されます。
問10	答え 1 密度の大きい海洋プレートが、大陸プレートの下へ斜めに沈み込んでいるから	日本列島の周辺では、海洋側のプレートが大陸側のプレートと衝突し、その下へと沈み込む「沈み込み帯」が形成されています。震源は主に、沈み込む海洋プレートの上面やその内部に集中しているため、沈み込みが進む大陸側ほど震源が深くなるという規則的な分布が見られます。
問11	答え 1 1 標高が低く比較的平坦な地形が広がっており、その土地を利用してパイナップルやサトウキビなどの栽培が行われている可能性がある。	最高地点が標高27.0mという数値からは、この地域が全体的に低く平坦な地形であることが読み取れます。また、沖縄県の地理的特性と「果樹園」の地図記号が多数あるという情報を組み合わせると、亜熱帯の気候を活かした果物や工芸作物の栽培が行われているという土地利用の状況が推察されます。
問12	答え 1 2 富士山型 → 中央部が膨らんだ移行期 → つぼ型	日本の人口ピラミッドは、戦前の多産多死だった時代の「富士山型」から、高度経済成長期を経て若年・壮年層の厚みが増した「釣鐘型（移行期）」へと進みました。その後、さらなる出生率の低下によって底辺がすぼまり、21世紀には「つぼ型」へと変化しました。
問13	答え 1 3 管領	室町幕府の足利義満の時代に制度が整えられた管領は、将軍の下で侍所や問注所などを統括しました。特に細川・斯波・畠山の三家は「三管領」と呼ばれ、有力な守護大名が幕政に参画する室町幕府特有の連合政権的な性格を象徴しています。